

社史セミナー

開催地 / 東京

激動の時代だからこそ
社史から学べることがあります！
社史を作る意義があります！

「いま社史がアツい。中小企業で発刊増、社員定着狙う」
—日本経済新聞社 2018年10月14日配信
「若い人は社史を読んで会社のDNAを知ってほしい」
—AERA 2018年3月12日号

このような場合にも、
ご参加をおすすめします

● 社史から何が学べるのか？

どの会社の歴史にも、苦境を乗り越えた足跡があります。そこには、未来のヒントが詰まっています。100年に一度の大転換が迫っている今、社史から学べることで、社史をつくることで見えてくるがあります。

● 社史づくりのポイントとは？

社史をつくる意義は分かって、制作に多大な労力を割かれるのではないかと、いかにスムーズに制作を進め、喜ばれる社史に仕上げていくか。そこには、経験者だからこそ語れるノウハウがあります。

- ・社史を作るメリットが見い出せない
- ・社史の担当になって困っている
- ・いずれ我が社も社史を作るかもしれない

■ 開催日時

2019年5月17日(金) 15:00~16:30

● 第1部(35分): 講演+質疑応答

● 第2部(40分): 講演+質疑応答

■ 開催場所

日本教育会館
707号室

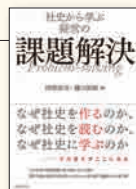
東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
都営新宿線・都営三田線
東京メトロ半蔵門線
神保町駅 徒歩3分
TEL:03-3230-2831



■ 参加特典

参加者全員に本をプレゼント

『社史から学ぶ経営の課題解決』
阿部武司・橋川武郎編、出版文化社刊



■ セミナー内容

● 第1部 | 新しい会社史の試み — セーレンの事例から

- 各製作工程のポイント
(資料提供・調査、現地視察、目次立て、記述)
- 「正史」と「経営史」の比較
- 次世代リーダー養成の指南書としての「社史」
- 講師：中村 尚史氏 東京大学社会科学研究所教授

第一人者が
分かりやすく
解説！

● 第2部 | 社史を有効に活用するには

- 「社内報」を日本で最初に発行した会社
- 社史編纂に至るまで
- 社史を制作する上で、工夫した点
- 制作を進めていくなかで、ぶち当たった難題と対応
- 社外へ向けての有効な社史活用法
- 講師：登内 文哉氏 クラシエ ホールディングス株式会社 総務・広報部 部長

社史担当者は
会社の歴史における
圧倒的当事者です

出版文化社はこんな会社です！ 設立35年の、社史制作専門の出版社です

1 社史受注実績 約1,300点！

- 豊富な経験で、多様な社史づくりを提案します！



2 編集は、必ず社員が社内で行います

- 編集を外注することが多い中、弊社では「編集は社員が社内です」ことをモットーにしています。
- 海外版スタッフも常駐しています。



3 紙だけでなく デジタルにも対応

- 弊社登録商標のWEB社史®、DVD社史、社史ムービーにも対応しています。



4 企業アーカイブもサポートできます

- 社史制作に欠かせない史・資料の調査、収集、整理の専門家(アーキビスト)が、ご要望にお応えします。



出版文化社

東京・神田神保町 大阪・本町
名古屋・山王

http://www.shuppanbunka.com